

しょうらいのゆめ

将来の夢

future dream



長須小学校 3年
吉澤 冠太さん

ぼくのしょう来のゆめは、二つあります。

一つ目は、じゆうどうでオリンピックに行くことです。今、どうしようでけいこをしています。らんどりなど、つらいけいこもありますが、はをくいしばってがんばっています。

二つ目は、しょうぼうしになることです。火事で、家もえこまっている人を、すぐにたすけ出したいからです。どちらのゆめも、体力がひつようなので、毎日体をきたえています。



イラスト
地域活動支援センター
"はあとぼっぽ" ほん太さん

ばんどう文芸

短歌

雨あとの素直がうれし草引くに得意な小技も失せしこの頃

【評】 雨後の草は素直に引けてうれしい。前は乾燥した地面でも我流の草を引く得意技もあったが、加齢で失せてしまった。さびしさの中にもその小技への愛着を持つ心情に好感。

今井 清 選

逆井 鈴木 さわ

ああこんな薫風届くもかたわらにうなづく君のいなさびしさ

この夏も亡夫が咲かすか山百合の香り豊けし命日の朝

青嵐木の葉ちざりて吹き荒ぶ休耕田の葎のざわめき

絹鞘のみそ汁サラダ付け合わせメニューはさまぎま句をいただく

草引きを終えて畳に寝ころべば窓一杯に夏空の見ゆ

祭り日や桜の下に初舞台音楽のしらべに花びらの舞う

小四の女孫は反抗期に入るかすべて逆らい手に負えぬなり

伊豆の宿眼下に広き相模灘イカ釣り舟のいさり火燃ゆる

グラウンドでかっ飛ばし球ホールイン球を囲みて皆笑顔なり

俳句

天の川子等と眺めし日が恋し

【評】 晴れた夜、空を見上げると銀河系の美しい星が放つ光の帯、天の川。子供達とよく星空を眺めては七夕伝説を語り合った日々が懐かしい。

林 秀峰 選

借宿 木村 歌子

心身に安らぎもたす夏夕べ

水羊羹若き二人の伺ひあひ

噴水の穂先にあそび心かな

将門の駆けし山河や雲の峰

学生に挨拶されて朝涼し

指先に残る紫蘇の香日記書く

気がかりな用片づきて水羊羹

遠き日の母と歌ひし日照草

両手あげ水鉄砲に撃たれけり

自転車の籠に犬のせ夕涼し

農作業日陰えらびて老夫婦

長 岩 矢 沓	菅 岩 岩 岩 生 長	借 宿	木 村 歌 子
須 井 作 掛	山 谷 井 井 井 子 須		
吉 齊 茂 木 中 島 鈴 中 林 鹿 吉	澤 藤 呂 村 山 田 木 川 野 野 沢		とみ 谷 環
ち 忠 民 み よ 由 達 き よ 子	か 隆 男 ね ね 美 男 子		

短歌・俳句の作品を募集します！
 皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
 俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩 井4633-1 ☎0297(35)1230